



## 暮らしの場が移っても思いをつなぐ…

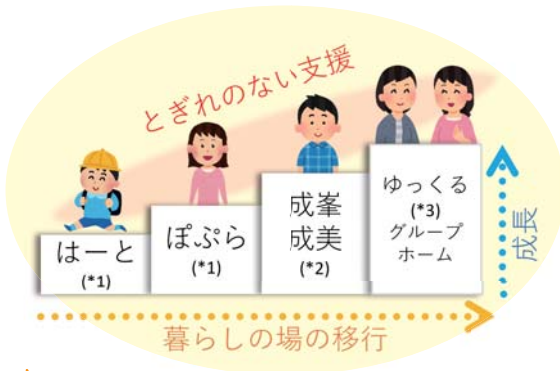
大人に成長して「はーと、ぽぷら(\*1)」から「成峯(\*2)」へ、また自立を目指して「成峯(\*2)」から「ゆっくる(\*3)」へ、それぞれ暮らしの場が移っても、とぎれない支援で本人の思いをつないでいます。

「はーと、ぽぷら(\*1)」「成峯(\*2)」「ゆっくる(\*3)」の解説は裏面をご覧ください。

その人の思いや能力に応じて、できるだけ自分の選んだ住まいで、自分らしい暮らしを実現したい。そういった思いに寄り添うのは社会福祉法人の使命です。しかし、子どものころから過ごした、慣れ親しんだ場所から暮らしの場を移すことで、新しい人間関係や生活リズムの変化など、大きなストレスになってしまうことがあります。

そこで、新しい暮らしの場にスムーズに移行できるよう施設間どうし連携を取り、とぎれない支援が実現できるように努めています。例えば、事前に本人の希望や個性、生活のリズムなどアセスメントに基づく情報共有はもちろんのこと、移行先の職員とのふれあいで馴染みやすい関係を作っておく。また、移行後には本人の様子などを連絡しあうなど、移行元、移行先とも同じ敷地にある強みを活かして連携しています。

またグループホームに移る際には、最適なホームを選ぶために、各ホームの特徴や生活環境などの把握に時間をかけて話し合い、事前の体験や地域の見学など、少しでも移行後の暮らしが本人の自立に役立つように寄り添います。



② 今年の夏、数々の思い出のある【はーと、ぽぷら(\*1)】の、最後となる夏祭りを楽しんだ博さん。

子どもから大人へ、成長に伴って暮らしの場が移っても、とぎれない支援で寄り添い、思いをつないでまいります。

(取材:広報委員会)

① 美紀さん(仮名)は、支援学校高等部入学前後から卒業までを【はーと(\*1)】で過ごし、現在は【成峯(\*2)】に暮らしながら就労移行支援を受けて働いています。そしてこの冬、さらに社会的な自立を目指すため【ゆっくる(\*3)】のグループホームへ暮らしの場を移し、地域に羽ばたく決意をしました。休日には好きな服を着てショッピングなどを楽しみたいと、移行後の暮らしに夢を膨らませています。

博さん(仮名)と直子さん(仮名)もそれぞれ、支援学校高等部入学前後から卒業までを【はーと(\*1)】で、卒業後22歳ごろまでを【ぽぷら(\*1)】で暮らしていました。8月から直子さんが、そして9月には博さんがそれぞれ【成峯(\*2)】へ暮らしの場を移し、新しい生活をスタートさせました。



③ 博さんより一足早く【成峯(\*2)】に移った直子さんの職員にも馴染んで、生活のリズムも落ち着いてきました。



# 名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から  
選り抜きの話題をご紹介します。

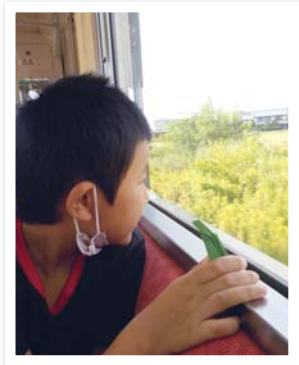
はてなブログ MiRAiレポート 検索

## ココロノイロ

### 子どもたち念願の!パート2

## くらしサポート ゆっくる

### グループホームでの 日常 #3



ココロノイロの子どもたちは電車が大好きです!  
そんな子どもたちに電車乗って欲しいという思いから  
実現した『電車乗り体験』。今回は伊賀鉄道比土  
駅から上野市駅まで、電車の旅をしました(^^)!

お金を入れて切符が買えたら、比土駅から電車に  
乗ります☆電車が動き出すと嬉しそうな子どもたち☆  
いつも、外から眺めていた電車に乗っています!忍  
者が隠れている電車や風鈴の音に癒される風鈴電  
車など、伊賀鉄道にはおもしろい電車がいっぱい☆  
そして目的地の上野市駅で、忍者さんなどと写真

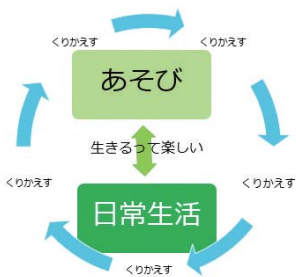
を撮っていると、あっという間に帰りの時間…。片道30分ほどの短い旅でしたが、  
子どもたちのやりたい事をこれからも実現できるようにしていきたいと思ひます♪



誰もいない食堂でコーヒーを飲みなが  
ら静かに下を向いて何かされています。  
そっと近づいてみると?針と糸で何かをして  
います。「何をしているの?」と声をかけ  
ると、「これしてるの～」と制作中の刺繍を  
見せてくれました。すごく綺麗(\*^o^\*)本  
の絵柄を見て、丁寧に糸を刺していきま  
す。次の日も、また次の日も刺繍が完成す  
るまで黙々とコーヒーを飲みながら、糸の  
色を変えて刺繍を楽しんでおられます。穏  
やかに彼女の時間が流れているように…  
夢中になって今日も刺繍をされています。

## 児童発達支援センター〈どれみ〉

### マザーズミーティングを開催しました。



マザーズミーティングは、親御さん同士交流する  
機会を持ち、思いの共有や相談・情報交換の場とし  
て子育てを応援する場です。子ども達の育ちや発達  
について発信をしたり、保護者さん同士で嬉しい事  
や心配な事をお話したりと、ゆっくりとした時間を過  
ごしていただけます。今回【どれみの“なぜ”を語り合  
おう♪】と題したミーティングに、たくさんのお父さ  
ん・お母さんが集まってくださいました。

どの子にとっても大切な乳幼児期にゆるがない土  
台を形成する事で、将来困った時にも乗り越えていける力を身につけてほしい!  
子ども達の生活が豊かなものになるように保育士は遊びを伝えます。

普段、中々ゆっくりお話をすることが出来ない保護者さん同士、子どもさんの話題  
やどれみの「なぜ」について様々に話し合い、ゆっくりとした、いい時間を皆さんで過  
ごしました。

今月紹介した記事は  
すべて、「MiRAiレ  
ポートブログ」に詳し  
く掲載しています。  
ぜひご覧ください。



▲ブログはコチラ

## (表面より) とぎれない支援で思いをつなぐ、暮らしの場

### (\*1)[こどもライフサポートセンター はーと、ライフステップ ぽぷら]

発達障害の見受けられる利用児(者)が、成長と共に自分らしく有意義な生活が送れるよう、生活の中  
から発達を支援する通過施設です。[はーと]は、3歳~高等部卒業を迎える18歳までの児童が暮らし、  
[ぽぷら]は18歳から概ね22歳までの、社会環境に慣れる間の大切な時期を支えます。



はーと



成峯

### (\*2)[成峯、成美]

知的障害のある成人の方の入所施設です。  
毎日の暮らしの中で、地域生活を目指して、  
ひとりひとりのニーズに応えられるような取  
り組みをしています。

### (\*3)[くらしサポート ゆっくる]

16のグループホームをもつ事業所の名前です。  
「どんなに障がいが高くても地域で自分らしく暮ら  
したい」、「一人暮らしは不安だけど自立したい」な  
ど、いろいろな願いに寄り添って、安心して暮らして  
いただけるよう支援しています。